

解散をもてあそんでは ならない

志位委員長が批判

岸田首相は、通常国会最終盤に解散風をあおる発言をした揚げ句、今国会での解散見送りを表明しました。共産党の志位和夫委員長は「率直に言って、解散をもてあそんでいる発言と言わなければならない」と批判しました。(15日の記者会見)。

解散は不信任可決のとき

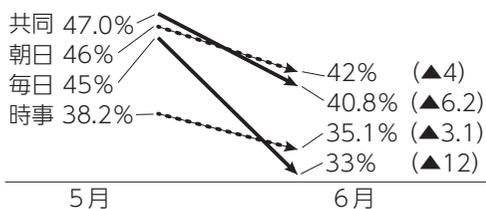
衆院解散は、「伝家の宝刀」、「首相の専権事項」と言われていますが、憲法が解散について明示的に書いているのは69条。内閣不信任決議が可決、もしくは信任決議が否決された場合に選択できるものとして規定されています。

万能の権限持っていない

憲法7条は、解散を天皇が「内閣の助言と承認により」行う国事行為の一つとしてあげています。志位氏は、これは形式的な条項として述べられているのであって、「7条を根拠として『伝家の宝刀』『首相の専権事項』というのは憲法解釈としては許容できない。万能の権限を首相が持っているかのような発言は認める訳にはいかない」と語りました。

志位氏は同時に、「野党にとって不信任案の提出は大変重い。提起する場合は本気で解散に追い込み、政権奪取をめざす覚悟が必要だ」と強調しました。

軒並み減 内閣支持率



岸田内閣支持率は、「毎日」調査(17、18日)で12ポイント減など軒並み下落しました(グラフ)。

制度解説 衆院選挙 投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

違憲

経済無策

国民無視

岸田内閣不信任案 共産党賛成

衆議院本会議は16日、立憲民主党が提出した岸田内閣不信任決議案を、自民、公明、維新、国民民主各党の反対多数で否決。共産党は賛成し、討論で憲法違反の大軍拡や国民無視の悪法を強行する岸田内閣を厳しく批判しました。

共産党が賛成した理由は3つです。

「敵基地攻撃」許されぬ

①岸田政権が憲法違反の敵基地攻撃能力の保有と5年間で43兆円もの大軍拡に踏み出したこと。日本が攻撃を受けていないのに、相手国の領土を攻撃することは憲法9条の下

で許されるはずがない。

②経済無策。物価高騰で国民の暮らしは悲鳴を上げ、岸田政権の下で実質賃金は13カ月連続で減少。「所得倍増」という総理の約束はどこに行ったのか?世界100カ国超が踏み出した消費税減税には背を向ける一方、10月からはインボイスを導入。

③国民無視の大暴走。マイナ保険証のトラブルが頻発しているのに保険証廃止の方針に固執。人権無視の入管法改悪を強行。

日本共産党

総選挙で政治変える

共産党は17日、大阪市阿倍野区で総選挙めざす緊急街頭宣伝を行い、田村智子党副委員長と大阪の衆院選予定候補らが「悪政と正面对決している共産党の躍進で政治を変えよう」と訴えました。



訴える田村副委員長(左端)、宮本たけし衆院議員(その右)ら=17日、大阪市阿倍野区

近畿民報

2023年6月 No.4 (第555号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。